

令和7年度補助系統別事業評価票（岡崎・西尾（青野）線）

28

1. 補助系統の概要(△)

系統名	運営主体	運行事業者	区間	キロ程	運行回数	関係市町村
岡崎・西尾（青野）	名鉄東部交通株式会社	名鉄東部交通株式会社	東岡崎（藤田医大）～下青野～西尾	19.2, 16.8, km	16.3 回	岡崎市 西尾市
細系統	下青野経由	〃	東岡崎～下青野～西尾	19.2 km	9.6 回	岡崎市、西尾市
	下青野経由	〃	藤田医大～下青野～西尾	16.8 km	2.6 回	岡崎市、西尾市
	下青野経由	〃	西尾～下青野～藤田医大	17.2 km	3.9 回	岡崎市、西尾市

※「細系統」には、補助上同一系統とみなされている系統について、系統ごとの情報を記載(系統名、区間は他の系統と違いが分かるよう記載)

接続の状況(△□)

<接続する系統>

名古屋鉄道名古屋本線 名古屋鉄道西尾線
JR東海東海道本線
名鉄バス
名鉄東部交通バス岡崎西尾線、一色線

<接続される系統>

くるりんバス 平坂中畑線、寺津矢田線、市街地線、米津線、西野町線、三和線、室場線、福地線
いっちゃんバス
いこまいカー(デマンド型乗合タクシー)

模式図(△□)

2. R7年度の運行状況

事業実施の適切性		評価の基準<事業実施の適切性>	
計画どおり運行されたか(△)		A: 事業計画とどおりの運行回数が確保されている場合 B: 年間総走行乗車数等の指標に十分余裕により、運休(一部区間の運休を含む)が生じた場合	
評価	計画どおりか。そうでない場合は理由		
	令和7年9月5日の台風15号により運休以外には運休はなし。	評価の基準<目標・効果達成状況> A: 年間目標利用者数を達成できた場合 B1: 年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の75%以上の利用があった場合 B2: 年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の50%以上の利用があった場合 C: 年間利用者数が目標の半数に達しなかった場合	

《参考数値》 主要指標の推移(△)						
年度		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
年間利用者数【人】		127,582	121,244	153,777	163,437	163,690
平均乗車密度(実績)		3.1	2.9	3.8	4.2	4.1
輸送量	(計画)	79.8	52.1	50.5	46.1	63.5
	(実績)	50.5	46.9	61.9	66.7	66.8
収支率(実績)		46.6%	45%	53.08	48.21	48.66

目標・効果達成状況			
評価	目標の達成状況(△)		運営主体の所見、理由分析、認識(△)
A	目標	162,405	manacaを利用される定期外旅客の利用が顕著であったことに加え、通勤定期、通学定期をmanaca定期に変更し利用しやすくなって利用者が増えた。また路線沿線の施設の移設・増加など、環境の変化が影響しているものと思われる。
	実績	163,690	
	達成率	100.8%	
	要因	manaca導入による利便性向上、沿線環境の変化	市町村の所見、理由分析、認識(□)
運行事業者の所見等(△)			市町村名： 岡崎市
manaca導入により、これまで当社をご利用になられなかったお客さまの需要を獲得したほか、定時運行の確保とダイヤ改正の効果が現れたとも考えている。			市町村名： 西尾市
			新型コロナウイルスの5類移行による通学及び定期外の利用が引き続き回復傾向にあると考えられる。効果的なダイヤ改正も利用者の回復を後押ししたと考えられる。沿線に総合病院も複数ある路線であり、潜在需要も高いと考えられるため、運行主体や関係市とともに引き続き利用促進に努めていく。
			市町村名：

複数市町村を跨ぐ系統としての役割			
指標(市町村を跨いでの利用)	利用状況及び所見(△)	住民の利用状況(□)	
市町村を跨ぐ利用者数(△)	2,366 人/月	市町村名： 岡崎市	市町村名： 西尾市
全利用者に占める率(△)	17.3 %	本市から西尾市への通院・通学等の移動手段として利用されていると考えられる。	各市域内での移動が多く見られるが、岡崎方面への通勤・通学利用や、岡崎市の病院への通院や商業施設への利用など広域的な利用も見られる。
特記事項	市町村を跨ぐ利用者数は推計値		

《参考数値・情報》 その他、運行改善や利用促進に参考となる数値・情報	
運営主体《断面輸送量、競合系統合算断面輸送量、主な停留所乗降者数等》(△)	沿線市町村《沿線の状況等、すべての沿線市町村一括記載》(□)
電車通り銭堤停留所乗降者数 約20人/日 岡崎警察署停留所乗降者数 約30人/日 岡崎駅西口停留所乗降者数 約190人/日 中島停留所乗降者数 約70人/日 西尾停留所乗降者数 約80人/日	

3. R7年度の取組状況

直近の事業評価結果(△)		運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)			
A	事業評価を踏まえた取組	路線沿線の施設の移設・増加など、環境の変化に合わせて令和6年12月1日にダイヤ改正を実施した。 お客さまに安心してご利用いただけるように定期券のIC化実施した。 六ツ美地区チョイスコ運行に対しては共存共栄の立場から協力を継続する。経路検索事業者に駅探を加えて利用者の利便性向上を図っている。	市町村名： 岡崎市	市町村名： 西尾市	市町村名：	市町村名：
改善点とした事項(△)			公共交通マップの作成・配布等を行い、地域住民へ周知を図った。	・小学生と保護者を対象とした企画切符を作製し、全小学生に配布 ・市内の公共交通を網羅したマップ・時刻表を作製 ・市内で運行するおでかけタクシー「いこまいカー」の目的地にバス停を追加		
利用実態に見合った適切な運行計画を実施し、利用者の利便向上に努めた。						
関係者の連携等(△□)	その他の取組					
年に数回、事業者と岡崎市・西尾市とそれぞれ地域公共交通会議を開催				・学生を対象にどの区間でも月3,000円で通学できる「スクールバス」を発行し、本来の通学定期金額との差額を補助している。		

4. 今後の課題

課題と認識している事項					
運営主体(△)	沿線市町村(□)				
乗務員確保が最大の課題。限られた乗務員数の中でお客さまが利用しやすいダイヤの設定を設定することが必要であると考えている。また、車両の老朽化が進んでおり、今後の更新が急務である。	市町村名：岡崎市	市町村名：西尾市	市町村名：	市町村名：	
	高齢者バスの利用ができないことが課題となっている。サービスを維持しつつ利便性向上に努めるとともに、事業者と沿線市が一体となり、住民の利用ニーズに合わせた維持及び改善策を実施する必要がある。	今後も利用者を増加させていくためには、新規利用者の獲得が必要になるため、沿線住民への割引制度の周知や乗り方の説明が必要となる。			
運行事業者(△)					

5. 今後の取組

課題に対応した取組、その他の利便性の向上、利用促進の取組					
取組時期	運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)			
R6年度、R7年度に行う取組	利用者の利便が向上する運行に努めていく。定時運行確保のため、道路状況の把握に努め、沿線市町とも協議をしていきたい。 藤田医大系統、東岡崎系統の両方について改善余地がないか、ダイヤ等の検討を継続する。	市町村名：岡崎市	市町村名：西尾市	市町村名：	市町村名：
		公共交通マップの作成・配布等、現在実施している取組みを継続して行う。	・公共交通マップ、総合時刻表作成 ・「いこまいカー」から乗り継ぎ利用ができるということのPR ・増加傾向にある外国籍住民を対象にした多言語対応のパンフレット配布 ・乗り方教室等を通じたバス利用のPR		

注、評価にB、Cがある系統(市町村にあっては、目標の達成状況についての評価がB、C)、又は平均乗車密度が3.0を下回る系統については、具体的な取組内容と収支率の目標値を記載すること。

6. 地域公共交通計画(地域公共交通網形成計画)に記載した補助系統の目標と評価

	沿線市町村(□)			
目標	市町村名：岡崎市	市町村名：西尾市	市町村名：	市町村名：
	地域のニーズにあった地域主体の交通	年間利用者数：R7は165,071人。		
自己評価	都市間の交流を促進するために必要な路線であるため、西尾市と協調して維持及び改善を図っていく必要がある。	補助系統含む青野系統の利用者数は163,690人で、目標値の99%となった。前年と比較すると利用者数は増加したものの、計画の目標値は下回った。		

7. 補助系統に接続するフィーダー系統の利用・接続状況

沿線市町村(□)			
市町村名：岡崎市	市町村名：西尾市	市町村名：	市町村名：
	主に西尾駅で他路線と接続しており、岡崎市内の駅や商業施設などへの乗継利用が見られる。また、市東部地区ではタクシーを活用した支線交通の接続先となっている。		

通信欄	(この欄は関係者間で付記したいことや特記事項がある場合に利用する。)
※マクロを用いて集計しますので、セルの結合は絶対に変えないでください	

系統名	No. 運行事業者	運営主体	計画輸送量	関係市町村1	2	3	4
大沼	1 名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	15.1	岡崎市	豊田市(旧下山村)		
岡崎・足助	2 名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	32.3	岡崎市	豊田市(旧足助町)		
矢並	3 名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	39.2	豊田市(旧足助町)			
岡崎・安城	4 名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	23.3	岡崎市	安城市		
日進中央	5 名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	58.5	日進市	長久手市		
星ヶ丘・豊田	6 名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	16.9	日進市	みよし市	東郷町	
愛知医科大学病院	7 名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	18.5	尾張旭市	長久手市		
本地ヶ原	8 名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	37.2	名古屋市	瀬戸市	尾張旭市	長久手市
ふれんどバス①	9 名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	42.0	碧南市	西尾市		
ふれんどバス②	10 名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	51.4	碧南市	西尾市		
伊良湖支線(福祉C堀切)	11 豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	17.8	田原市(旧渥美町)			
作手	12 豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	20.1	新城市(旧作手村)			
田口新城	13 豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	31.1	新城市	設楽町		
伊良湖本線(渥美病院休暇村明神)	14 豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	25.2	田原市(旧渥美町)			
新豊	15 豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	40.4	豊橋市	豊川市	新城市	
伊良湖本線(豊橋保美)	16 豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	21.6	豊橋市	田原市(旧渥美町)		
豊川(体育館前)	17 豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	25.3	豊橋市	豊川市		
豊川(イオン病院)	18 豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	24.9	豊橋市	豊川市		
豊川(イオンモール豊川)	19 豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	33.1	豊橋市	豊川市		
新城名古屋藤が丘線	20 豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	20.7	名古屋市	新城市	長久手市	
半田・常滑(A)	21 知多乗合(株)	知多乗合(株)	40.0	半田市	常滑市		
半田・常滑(N)	22 知多乗合(株)	知多乗合(株)	19.0	半田市	常滑市		
横須賀(A)	23 知多乗合(株)	知多乗合(株)	29.7	東海市	大府市		
東ヶ丘団地	24 知多乗合(株)	知多乗合(株)	29.8	東浦町	知多市	阿久比町	
上野台	25 知多乗合(株)	知多乗合(株)	66.3	東海市	大府市		
大府	26 知多乗合(株)	知多乗合(株)	30.0	大府市	東浦町		
あいあいバス(北部循環コース)	27 知多乗合(株)	知多市	25.4	知多市	東海市	阿久比町	
岡崎・西尾(青野)	28 名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	63.5	岡崎市	西尾市		
岡崎・西尾(西尾市民病院)	29 名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	35.9	岡崎市	西尾市		
勝川あいち航空ミュージアム	30 あおい交通(株)	あおい交通(株)	20.4	春日井市	豊山町		
飛島公共交通バス(蟹江線①)	31 三重交通(株)	飛島村	71.6	弥富市	蟹江町	飛島村	
飛島公共交通バス(蟹江線②)	32 三重交通(株)	飛島村	17.6	弥富市	蟹江町	飛島村	
岩倉	33 東濃鉄道(株)	名鉄バス(株)	19.2	小牧市	岩倉市		

①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
						【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)		収支率(%)				
		運営 主体	運行 事業者				No.、系統名	運行区間	R7 計画	R7 実績	(平均乗 車密度)		
名鉄東 名鉄東 28 岡崎・西尾 東岡崎(藤田)線路線沿線の施設の移 0 令和7年9月5日の台 A 目標162405実績16361 63.5 66.8 4.1 16.3 48.2 48.7 岡崎市中心部(東岡崎駅)から利用者の利便が向上する運行に努め													

りていく。定時運行確保のため、道路状況の把握に努め、沿線市町とも協議をしていきたい。藤田医大系統、東岡崎系統の両方について改善余地がないかダイヤ等の検討を継続する。岡崎市公共交通マップの作成・配布等、珍

現在実施している取組みを継続して行う。西尾市・公共交通マップ、総合時刻表作成・「いこまいかー」から乗り継ぎ利用ができるということのPR・増加傾向にある外国籍住民を対象にした多言語対応のパンフレット配布・乗り方教

室等を通じたバス利用のPR